

令和6年度

# 第64回 関東ブロック 保育研究大会

開催要綱

期 日

令和6年 7月4日(木)～5日(金)

開催地

【1日目】新潟県新潟市「朱鷺メッセ」

【2日目】新潟県新潟市「朱鷺メッセ」「新潟ユニゾンプラザ」



# 令和6年度 第64回関東ブロック保育研究大会 開催要綱

## 1 主 題

「すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現」をめざして

## 2 開催趣旨

「新子育て安心プラン」が策定されてから3年が経過し、待機児童問題は解消に向かいつつあります。さらに人口減少と急速な少子化の状況等により、定員割れとなる保育施設もあり、それぞれの地域において、保育者、保育所・認定こども園等のあり方が検討され、地域の特性に応じたサービスの提供が行われています。

このような保育施設の量より質が求められている現状を鑑み、保育者である私たちは、これまで培ってきた保育の営みを大切にしながら、保育に求められる責務について常に研鑽し、日々の取り組みを充実させなければなりません。

これらの背景に加え、保育者の人材不足は深刻化し、業務量の増加等、負担は増加しています。専門職として質の高い保育を提供するため、保育者の処遇改善や働く環境及び地位の向上には、関係機関が一丸となって取り組むことが重要です。

保育をめぐる情勢を踏まえ、すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現に向けた私たち保育者の姿勢を広く発信できるよう、多様なテーマでの研究協議を深め、先駆的・効果的な実践を学び合うことにより、保育・子育て支援の拡充につなぎ、保育実践の質の向上を目指すことを目的として本大会を開催します。

## 3 主 催

新潟県、新潟市、新潟県社会福祉協議会、新潟県保育連盟、新潟県保育士会、  
関東ブロック各都県指定都市、関東ブロック各都県指定都市社会福祉協議会、関東ブロック保育協議会

## 4 後 援 (予定)

こども家庭庁、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国保育協議会、全国保育士会

## 5 期 日

①全体会 令和6年7月4日(木)

②分科会 令和6年7月5日(金)

## 6 会 場

朱鷺メッセ 新潟市中央区万代島6番1号

新潟ユニゾンプラザ 新潟市中央区上所2丁目2番2号

- ①全体会 朱鷺メッセ メインホール
- ②分科会 朱鷺メッセ・新潟ユニゾンプラザ

## 7 大会運営

この大会を円滑に進めるため、主催各都県指定都市の保育協議会（部会）、保育士会（部会）、保育行政主管課、社会福祉協議会の代表者及び開催県の保育協議会会長が委嘱した者をもって構成する運営委員会を置く。

運営委員長は、開催県である新潟県保育連盟理事長を、副委員長は新潟県福祉保健部子ども家庭課長、新潟市こども未来部保育課長、新潟県社会福祉協議会常務理事・事務局長、新潟県保育士会会長をもってあてる。

運営委員長は、別に実行委員を委嘱し、実行委員会を置く。

## 8 大会役員

この大会は次の役員をもってあてる。

### ①分科会議長

「分科会議長割当表」により指定された都県指定都市の社会福祉協議会または保育協議会等から推薦のあった者をあてるものとし、各分科会の議事を行う。

### ②大会幹事

運営委員長が委嘱し、分科会の進行にあたる。

## 9 分科会助言者

運営委員長は、分科会ごとに1名の助言者を委嘱する。

## 10 参加者

1,000名 この大会の参加者は次のとおりとする。

- ①保育所・認定こども園等関係者
- ②保育行政機関、保育士養成校関係者
- ③社会福祉協議会関係者
- ④学識経験者
- ⑤保護者、その他保育事業関係者

## 11 日程

### 【1日目 全体会】

7月4日(木)	
会場/朱鷺メッセメインホール	
受付	11:30~
オープニング	12:10~12:40
開会式	12:50~13:50
基調講演	13:50~15:20
休憩	15:20~15:30
記念講演	15:30~16:50
次期当番県挨拶	16:50~17:00
1日目終了	17:00

### 【2日目 分科会】

7月5日(金)	
会場/朱鷺メッセ内、新潟ユニゾンプラザ内、各会場	
受付	9:00~9:30
分科会討議	9:30~15:00
閉会	15:00

時間 日	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
7/4 (木)				受付 11:30~	開 会 式	基 調 講 演	休 憩	記 念 講 演	次 期 当 番 県 挨 拶	閉 会	分 科 会 打 合 会  17:30~ 18:30
7/5 (金)	各 分 科 会 受 付  9:00~ 9:30	分 科 会	昼 食		分 科 会	閉 会		処 理 委 員 会  15:30~			

## 12 研究方法

- ①全体会 初日の全体会は、基調講演及び記念講演を行う。
- ②分科会 研究テーマに基づき、各都県指定都市からあらかじめ提出された代表意見を中心に研究討議を行う。意見の発表時間は1人30分以内とし、A4版・縦長・横書き・8頁以内とする。あらかじめ議長・助言者及び幹事を主催者が委嘱し、分科会の運営にあたる。

## 13 オープニング



### 「CHIBI UNITY (チビユニティ)」とは

小学生から大人までの幅広い年齢層で構成。ダンサーの国友慎之助さんが代表を務める。

『新潟から世界へ』をテーマにダンスを通して人と人、人と街をつなぐ活動をしているジュニアダンスチーム。2017年結成後、僅か1年で世界で最も権威のあるダンス大会「VIBE DANCE COMPETITION」のジュニア部門優勝、その後も出場する大会で次々と優勝・入賞を繰り返し、一躍世界から注目される存在となった。

ロサンゼルスで開かれたダンス世界大会「VIBE DANCE COMPETITION」ジュニア部門に、地方から初出場、初優勝という快挙を成し遂げ、2023年には史上初の4連覇、大人部門での初出場初優勝を成し遂げ、二冠達成。

新潟のダンス教育をモデルに活動したい県外の団体との連携にも積極的で、全国で「CHIBI UNITY」の活動が拡大している。

## 14 基調講演

講師：新潟青陵大学 特任教授 伊藤 充 氏

テーマ：地域環境と保育 ー日本最初の保育所の保母・赤澤ナカー



### 【略 歴】

新潟大学教育学部卒業後、新潟県公立小学校、新潟大学教育学部附属新潟小学校、新潟県教育庁、新潟市教育委員会に勤め、新潟市立新潟小学校長を最後に退職。その間、新潟県史、新潟市史をはじめとする市町村史の編集委員・執筆委員を務める。2012年から新潟市教育委員会教育政策監、2016年から新潟大学教育・学生支援機構特任教授を務め、現在は新潟青陵大学特任教授、新潟県新聞活用教育（NIE）推進協議会会長

人間は地域の環境（その地域の自然・地理・歴史・民俗・制度を含めた）に影響されながらどのように学びどのように自分の力を高めていくかということについて新潟県域をフィールドに研究しています。分かりやすく言うと、人が県民性などの環境に影響されながらも個性を発揮して自分らしく生きていく事例を歴史的に研究しています。それが、幼児から大人にわたる教育活動に大きく影響すると考えるからです。特に地域性、県民性などその地域に古くから伝わる環境は、これから私たち自身の力で変えていくことが可能です。その大きな力が保育や教育に存在すると考えています。

## SEIRYO Manabism 「メッセージより」

子どもたちは、私たちが想像する以上に大きな可能性を持って生まれてきました。

私たち大人は、子どもたちのために、どんな環境を準備できるのでしょうか。

私たち大人は、無意識の内に子どもたちの力を高める環境や、子どもたちの力を削いでいく環境などを作ってしまうています。

子どもたちは、保育や教育にどう向き合えばよいのか、一緒に考えてみませんか。

### 【主な著書】

『保育者の源流 赤澤ナカ―日本最初の保育所の保母―』

『官立新潟師範学校と82人の卒業生』

『新潟県 県民性の歴史』

『新潟県 県民性の人物史』

『新潟県 県民性の民俗史』

『新潟の街と小学校の百物語』

『知っておきたい 新潟県の歴史』

## 15 記念講演

講師：浪曲師 玉川 太福 氏

演題：「和製ミュージカル!?浪曲で楽しむ“保育あるある～”」他



### 【略歴】

1979年生まれ。新潟県新潟市出身。O型。

所属：一般社団法人日本浪曲協会、公益社団法人落語芸術協会

2007年3月 二代目玉川福太郎に入門

2013年10月 木馬亭にて名披露目興行

2015年 「第1回渋谷らくご創作大賞」

2017年 「第72回文化庁芸術祭・大衆芸能部門新人賞」

2016年より 「にいがた観光特使」

2020年 「第37回浅草芸能大賞 新人賞」

年間50公演を超える独演会を開催し、浪曲定席木馬亭をはじめ、近年では新宿末廣亭や天満天神繁昌亭など落語の定席にも出演中。

「天保水滸伝」や「清水次郎長伝」といった古典の名作を継承する一方、新作では代名詞となっている「地べたの二人」シリーズをはじめ、時事ネタ、ニュース・天気予報・身辺雑記まで幅広く唸り、瀧川鯉八・春風亭昇々・立

川吉笑との創作話芸ユニット“ソーゾーシー”でも活動。

2017年からは山田洋次監督、松竹株式会社の許諾を得て「男はつらいよ」シリーズの全作浪曲化にも挑戦している。

メディア出演は、日テレ「笑点」、Eテレ「浪曲特選」、NHK-FM「浪曲十八番」、新潟総合テレビ「八千代ライブ」、TOKYO-MX「ソーゾーシーやつら」など多数。2019年4月から、FM（JFN系列・全国ネット）「ON THE PLANET」レギュラーパーソナリティ。

## 16 分科会

分科会は8分科会及び特別分科会とし、それぞれのテーマ、研究方針、研究の視点は次のとおりとします。

### 《第1分科会》新たな時代の保育実践～すべての子どもにむけて～

【助言者】新潟県立大学 人間生活学部 子ども学科 教授 斎藤 裕 氏

子ども・子育て支援新制度では、「保育の必要性（の認定）」に基づいて、保育が提供されます。

また、幼児期の教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するとの子ども・子育て支援法の趣旨から、認定こども園制度を改め、学校及び児童福祉施設としての法的位置づけをあわせ持つ新たな幼保連携型認定こども園が創設されました。

保育所は、これまで保育所保育指針に基づき、児童福祉施設として、各保育所における創意工夫のもと、保育実践をすすめてきました。認定こども園では、保育所保育指針を踏まえた「認定こども園教育・保育要領」に基づき、保育が展開されます。

本テーマでは上記実践のもと、子ども一人ひとりの健やかな育ちを保障し、保育の質を向上していくための手法や、さらに今後の保育をめぐる動きのなかで大切にすべき保育実践の視点について研究を深めます。

### 《第2分科会》配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて

【助言者】新潟青陵大学 福祉心理子ども学部 子ども発達学科 教授 藤瀬 竜子 氏

保育所・認定こども園等では、発達障害、医療的ケア児、要保護児童など配慮を必要とする子どもの増加が指摘されてきています。また保護者自身が生活面など何らかの課題をもち、子育てに困難が生じるケースも増えています。

本テーマでは、こうした子どもや保護者に対する保育・子育て支援関係者としてのかかわり方、あるいは保育者としていかに寄り添い、支援をおこなうべきかについて研究を深めます。

## 《第3分科会》保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する

【助言者】東京家政大学 家政学部 児童学科 教授 金城 悟 氏

保育所・認定こども園等における今日的状況として、職員の就業形態や雇用形態の多様化とともに働き方改革がすすめられています。職員間の連携、チームワークの形成や、職場全体としてのスキルアップとともに、働きやすい職場づくりに一層留意する必要があります。

子ども・子育て支援制度施行後、多様化する利用者のニーズに対応するとともに、保育現場の魅力を発信しながら、人材の確保・育成に努めていく必要があります。

本テーマでは、保育所・認定こども園等の内外の研修や情報共有のあり方、保育者の自己評価など、職員の資質向上にむけた効果的な実践と保育現場の魅力発信の取り組み、さらには保育現場に求められる働きやすく、やりがいのある職場づくりについて研究を深めます。

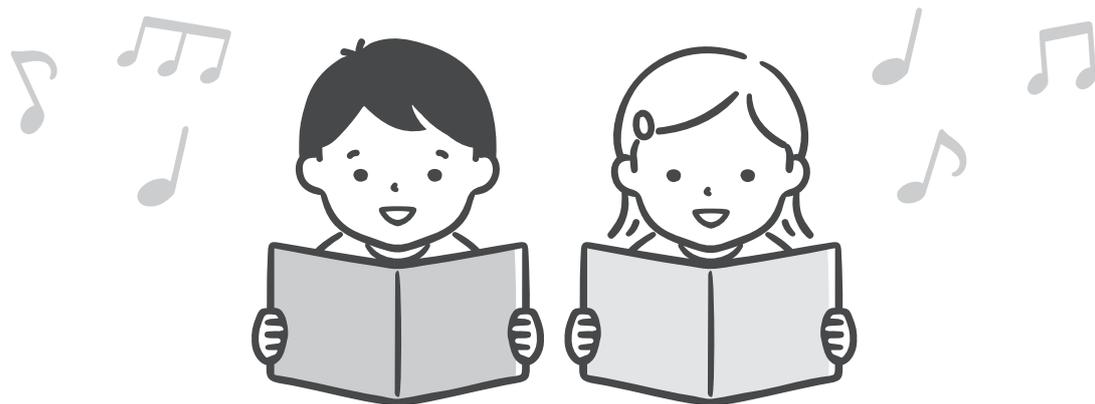
## 《第4分科会》地域の子育て家庭への支援の充実にむけて

【助言者】新潟県立大学 人間生活学部 子ども学科 准教授 角張 慶子 氏

保育所保育指針においては、保育所の役割として、保護者に対する支援と地域における子育て支援が明確に位置づけられています。また、新たな幼保連携型認定こども園では、子育て支援の実施が義務付けられています。

一方で地域のつながりが弱まるなか、子育てに孤立感や孤独感を深めている家庭へのアプローチがとくに重要な取り組みとなっています。

本テーマでは、地域子育て支援における保育所・認定こども園等の機能や保育者に求められる知識や技術をいかに地域支援に活かしていくかなど、地域の子育て家庭に対する支援のあり方について研究を深めます。



## 《第5分科会》子どものより良い育ちと安全・安心の環境づくりにむけた関係機関とのネットワーク

【助言者】新潟市中央区健康福祉課 子ども支援係 係長（主幹） 石川 成一 氏

子どものより良い育ちにむけ、保育所・認定こども園等、小学校さらに中学校との連携は、子ども一人ひとりの成長を連続的にとらえる視点として重要です。

また、子ども・子育て制度では各市町村で策定された「子ども・子育て支援事業計画（都道府県においては子ども・子育て支援事業支援計画）」に基づき事業実施が行われ、各地域の保育施策の充実化にむけては、社会福祉法人をはじめとする保育・子育て支援関係者と各地域の行政機関等との連携や、信頼関係の構築もいっそう大切となります。

さらには、子どもの貧困に起因する課題への対応、児童虐待予防、病児・病後児保育、さらには災害対応など、保育所・認定こども園等単体のみならず、地域の関係各機関と連携・協働をもってすすめるべき取り組みは多くあります。

本テーマでは、子どものより良い育ちにむけた、多様な機関との連携・協働のすすめ方や保育所・認定こども園等が果たすべき役割などについて研究を深めます。

## 《第6分科会》家庭や地域との連携による食育の推進

【助言者】上越教育大学大学院 学校教育研究科 教授 野口 孝則 氏

乳幼児期の食育の推進は、「食べる」ことや「いのち」への関心、さらに適切な食習慣の形成において大変重要です。そして食に関する家庭との相互理解、さらには地域子育て家庭にむけた食育実践や地域の食文化継承などの視点から、保育所・認定こども園等のみならず家庭や地域との連携のもとで実践を進めることが必要となります。

さらに保育現場では、自園調理の意義や有用性の確立ならびに、食物アレルギーをもつ子どもへの対応等も大きな課題となっています。

本テーマでは、保護者、家庭や地域と連携した食育の実践、食物アレルギーへの対応、食をとおした保育実践のあり方などについて研究を深めます。

## 《第7分科会》保育の社会化にむけて～保育の営みをいかに社会に発信するか～

【助言者】新潟県立大学 人間生活学部 子ども学科 教授 小池 由佳 氏

少子化や核家族化がすすむなか、社会における人と人、とくに子どもとおとながつながる場面が少なくなりつつあり、社会における子ども・子育てへの関心低下につながっています。こうしたなか、子育て家庭や保育関係者にかぎらず、すべての人が子どもや子育てに関心をもつ取り組みが、安心して子どもを産み育てることができる社会づくりにむけて大切です。

本テーマでは、保育所・認定こども園等の地域にむけた諸活動の展開により、広く地域や国民に対して子ども・子育てへの関心や保育の営みの重要性を発信し、地域全体で子育てを考えていく取り組みについて研究を深めます。

## 《第8分科会》公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割

【助言者】上越教育大学大学院 学校教育研究科 教授 杉浦 英樹 氏

保育・子育て支援の今日的な流れにおいては、都道府県や市町村に保育制度・施策に関する責務が増大する方向性であり、保育の質やその実践において地域間格差が進むことが懸念されます。

本テーマでは、地域全体の保育の質の向上にむけた公立保育所・公立認定こども園等の意義や役割意識の普及、行政機関でもある特性を活かした具体的実践のあり方などについて研究を深めます。



## 《特別分科会》ヒトの育ちを科学の視点で理解する —ポストコロナ社会に生きる次世代に向けて

【助言者】 京都大学大学院教育学研究科 教授 明和 政子 氏



### 【略 歴】

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。博士（教育学）。  
京都大学霊長類研究所研究員、京都大学大学院教育学研究科准教授  
などを経て、現在、京都大学大学院教育学研究科教授、文部科学省  
科学技術学術審議会委員、日本学術会議連携会員、こども家庭庁こ  
ども家庭審議会臨時委員

ヒトとヒト以外の霊長類を胎児期から比較し、ヒト特有の脳と心の発達の機序とその生物学的基盤を明らかにする「比較認知発達科学」という分野を世界にさきがけて開拓した。

近著に『マスク社会が危ない—子どもの発達に「毎日マスク」はどう影響するか？（宝島新書）』『ヒトの発達の謎を解く—胎児期から人類の未来まで（ちくま新書）』『まねが育むヒトの心（岩波ジュニア新書）』など。

NHKスペシャル『ママたちが非常事態!? 最新科学で迫るニッポンの子育て1・2（2016年放送）』『ニッポンの家族が非常事態!? 第1集わが子がキレル本当のワケ（2017年放送）』『ジェンダーサイエンス 男×女 性差の真実（2021年放送）』等の監修・出演により、現代社会に生きるヒトが抱える問題を最新科学の知見から理解する活動にも力を注いでいる。『こどもちようせんバラエティ いろいろ（読売テレビ、毎週日曜6：30～）』の監修も行っている（YouTubeにて『いろいろch』も配信中）

日本では、サイバー空間とフィジカルの空間を高度に融合させた新たな社会、Society 5.0が目指されています。

Society5.0では、利便性の向上、省力化（無駄のなさ）に価値がおかれています。

しかし、これは完成した脳をもつ大人を前提としているにすぎません。

哺乳類動物の一種であるヒトは、他個体との「密・接触」を基本とする環境に適応して進化してきた生物です。

大人にとっては一見無駄にもみえる経験を積み重ねながら、ヒトの脳と心（人間らしさ）はゆっくりと育まれていくのです。

今、私たちが生きる社会、環境は未曾有のスケールで変化しています。

どのような未来を次世代人類に託していくべきか、皆さんとともに議論したいと思います。

## 17 資料等の各都県指定都市の提出（納入）期限

- ①分科会における意見発表原稿 4月26日（金）  
 ②都県指定都市負担金納入 5月10日（金）

## 18 参加者割当（予定）

区分	施設	割当人数	率（％）	区分	施設数	割当人数	率（％）
相模原市	108	17	16	千葉県	785	102	13
千葉市	171	26	15	川崎市	170	20	12
栃木県	224	27	12	埼玉県	796	103	13
群馬県	378	46	12	長野県	543	71	13
山梨県	190	23	12	東京都	1,502	195	13
静岡県	622	81	13	横浜市	421	51	12
神奈川県	335	40	12	新潟県	637	132	
茨城県	510	66	13		7,392	1,000	

## 19 参加者割当（予定）

◎…意見発表割当 ○…議長割当 ■…令和6年度全国大会意見発表分担

分科会番号	1	2	3	4	5	6	7	8	特別	◎合計	○合計
相模原市	■	◎	■	■	○	◎	■	■	■	2	1
千葉市	○	■	◎	◎	■	■	■	■	■	2	1
栃木県	■	○	■	■	◎	■	■	◎	■	2	1
群馬県	■	■	■	○	■	◎	◎	■	■	2	1
山梨県	■	■	■	◎	■	○	■	◎	■	2	1
静岡県	◎	■	■	■	■	◎	○	■	■	2	1
神奈川県	■	◎	■	■	◎	■	■	○	■	2	1
茨城県	■	■	◎	■	○	■	◎	■	■	2	1
千葉県	◎	■	■	◎	■	○	■	■	■	2	1
川崎市	■	■	○	■	■	■	◎	◎	■	2	1
埼玉県	○	■	◎	■	◎	■	■	■	■	2	1
長野県	◎	■	○	◎	■	■	■	■	■	2	1
東京都	■	■	◎	○	■	■	■	◎	■	2	1
横浜市	■	◎	■	■	◎	■	○	■	■	2	1
新潟県	◎	○	■	■	■	■	◎	○	◎○	3	3
◎合計	4	3	4	4	4	3	4	4	1	31	
○合計	2	2	2	2	2	2	2	2	1		17

## 20 参加費・負担金及び参加申し込み

○参加費 1人 10,000円

※大会資料は大会ホームページより各自でダウンロードしてご用意ください。

紙の資料をご希望される場合は、資料代として入金時に別途1,000円をお支払いください。

※新型コロナウイルス感染症拡大等の状況により、開催方法等を見直す可能性があります。

○負担金 各都県指定都市 100,000円

## 21 申し込み方法

下記の申込サイトからお申し込み手続きをお願いします。

【申し込みサイトURL】

URL : <https://amarys-jtb.jp/kntbhoiku64/>

(申込受付期間) 令和6年3月11日(月)～4月26日(金)

※本サイトは主催者が取りまとめ・参加費徴収の事務を委託する業者より作成されたページです。二次元コードからも申し込みます。



申込内容入力完了後、登録されたメールアドレス宛に自動の「申込受付完了メール」が届きます。

※「申込受付完了メール」には参加費の振り込みのご案内を記載しておりますので、ご確認ください。

※@jtb.comまたは@amarys-jtb.jpからのメールが受信できるよう、あらかじめ設定をお願いいたします。

※翌営業日を過ぎても「申込完了メール」が届かない場合は、迷惑メールフォルダにも未着なことをご確認の上、株式会社JTB 新潟支店まで必ずご連絡ください。

※案内メールに基づき、お申込み日から2週間以内に参加費のお振込みをお願いいたします。

※参加証、お弁当引換券はシステムより各自印刷してお持ちください。

当日の引換券となりますので、事前にご準備いただきますようお願いいたします。

※お弁当について

ご希望により、7月5日(第2日目)のご昼食の事前予約を受付けます。

○弁当代：1,500円(税込み、お茶付き)

○引き渡し場所：各分科会会場受付

○事前に引換券を印刷してご持参ください。

○事前予約制となりますので、当日の販売はございませんのでご了承ください。

○時間の都合上、昼食お弁当のご予約をお勧めいたします。

お申し込み後の取り消しについて

原則、ご入金後の参加費、弁当代は返金できかねますのであらかじめご了承ください。

## 22 お問い合わせ先

(1) 開催内容に関すること

新潟県保育連盟「第64回 関東ブロック保育研究大会」事務局

(TEL) 025-281-5539 (FAX) 025-281-5540

(メール) [niigata-u@ans.co.jp](mailto:niigata-u@ans.co.jp)

(2) 参加申込み・参加費・宿泊等のお振込みに関すること

株式会社JTB 新潟支店 「第64回関東ブロック保育研究大会」係

担当：野々部・星 営業時間：平日10：00～17：00 土日祝日休業

〒950-0082 新潟県新潟市中央区東万代町1-30 新潟第一生命ビルディング3階

(TEL) 025-255-5101 (FAX) 025-248-7687

(メール) [niigata\\_ec@jtb.com](mailto:niigata_ec@jtb.com)

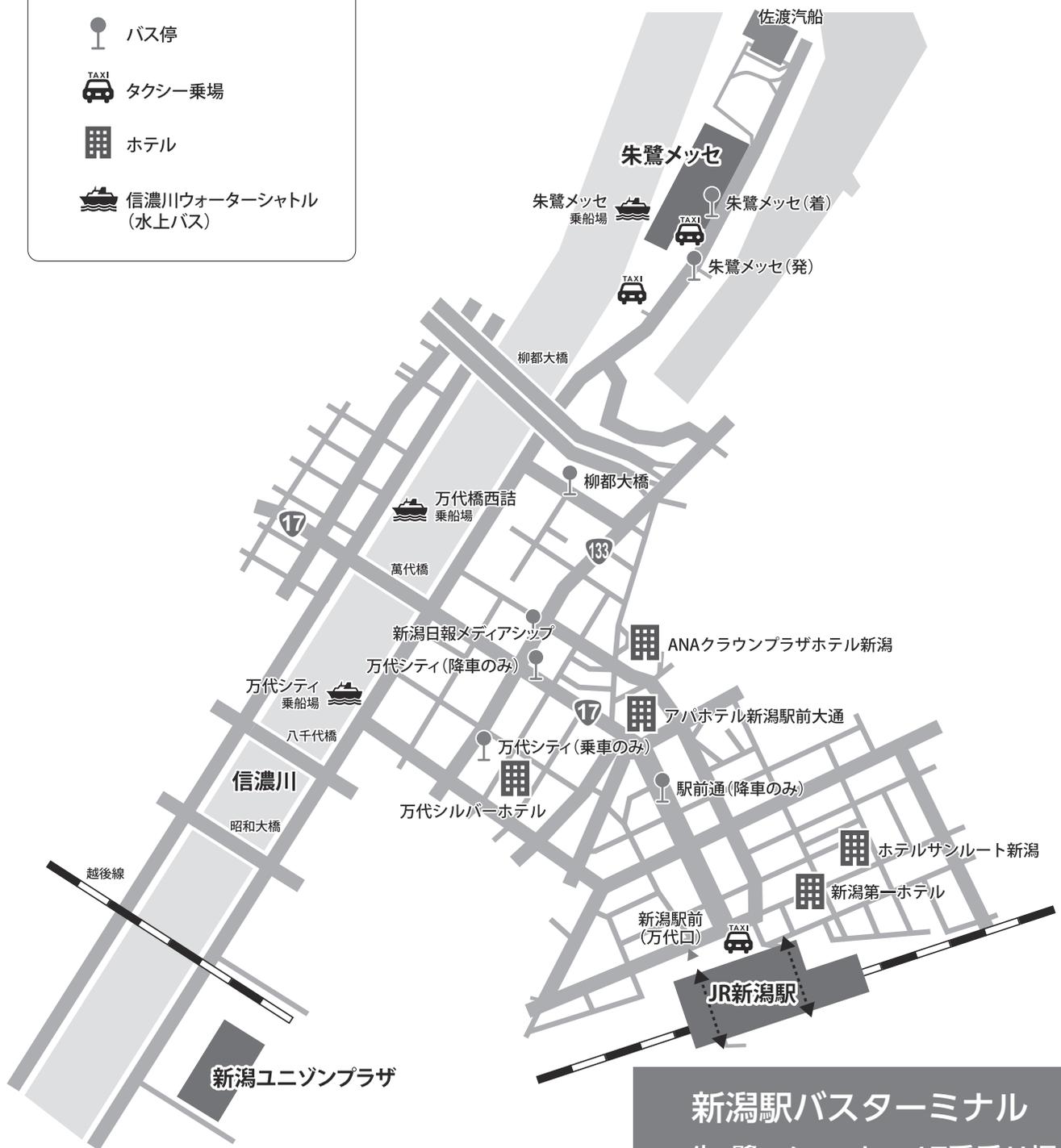
## 第64回関東ブロック保育研究大会会場一覧

分科会名	会 場 (予定)	住 所
全 体 会	朱鷺メッセ 2階 メインホール	新潟市中央区万代島6番1号 ☎025-246-8400
運営委員会	朱鷺メッセ 2階 中会議室201	新潟市中央区万代島6番1号 ☎025-246-8400
第1分科会	朱鷺メッセ 2階 メインホール (A)	新潟市中央区万代島6番1号 ☎025-246-8400
第2分科会	朱鷺メッセ 2階 メインホール (B)	新潟市中央区万代島6番1号 ☎025-246-8400
第3分科会	朱鷺メッセ 4階 国際会議室	新潟市中央区万代島6番1号 ☎025-246-8400
第4分科会	朱鷺メッセ 2階 中会議室201	新潟市中央区万代島6番1号 ☎025-246-8400
第5分科会	朱鷺メッセ 3階 中会議室301	新潟市中央区万代島6番1号 ☎025-246-8400
第6分科会	朱鷺メッセ 3階 中会議室302	新潟市中央区万代島6番1号 ☎025-246-8400
第7分科会	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室	新潟市中央区上所2丁目2番2号 ☎025-281-5539
第8分科会	新潟ユニゾンプラザ 4階 大会議室	新潟市中央区上所2丁目2番2号 ☎025-281-5539
特別分科会	新潟ユニゾンプラザ 2階 多目的ホール	新潟市中央区上所2丁目2番2号 ☎025-281-5539
処理委員会	朱鷺メッセ隣接万代島ビル 6階 会議室	新潟市中央区万代島6番1号 ☎025-248-8661

# 新潟市内ホテル・バス停位置図

〈凡例〉

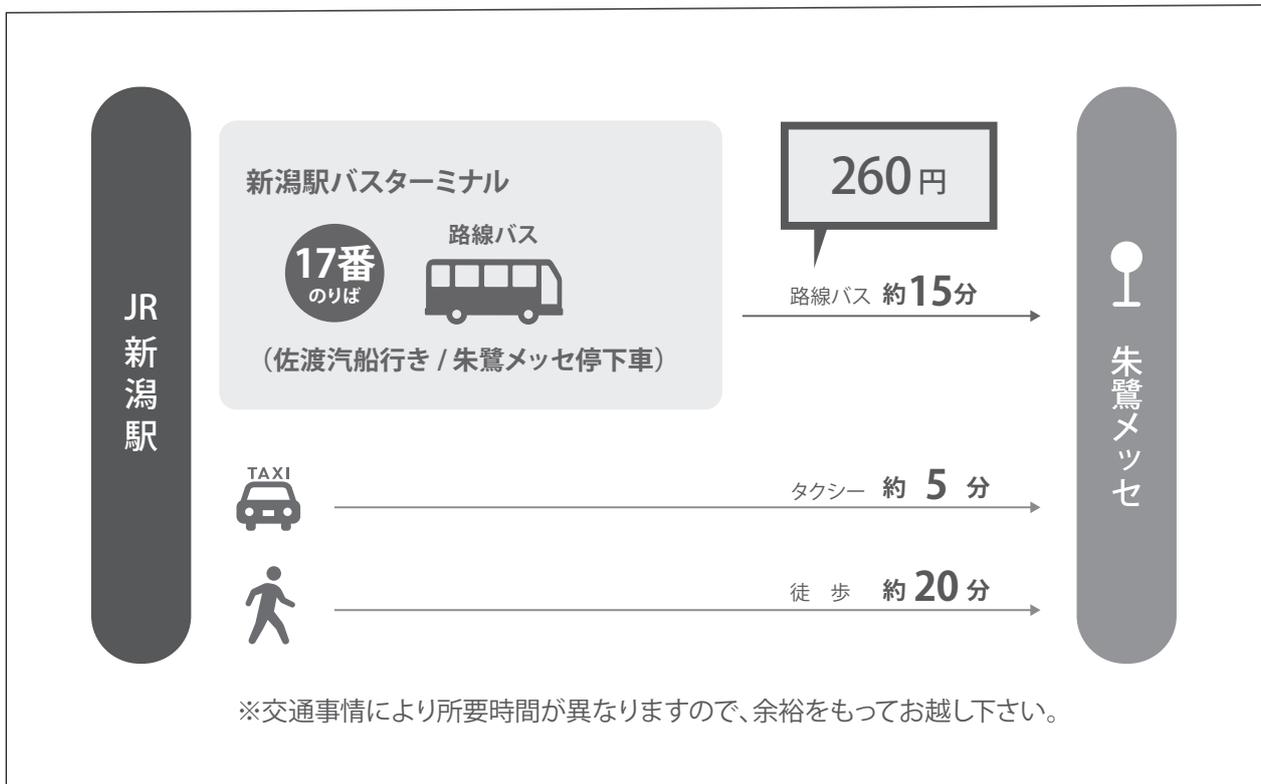
-  バス停
-  タクシー乗場
-  ホテル
-  信濃川ウォーターシャトル  
(水上バス)



## 新潟駅バスターミナル

- ・朱鷺メッセ：17番乗り場
- ・ユニゾンプラザ：10番乗り場

## 全体会会場・分科会会場「朱鷺メッセ」



## 分科会会場「新潟ユニゾンプラザ」

